

のちた風の



田中健太監督作品

2023 | 日本 | 77分 | カラー | ドキュメンタリー | 監督・撮影・編集: 田中健太 | 編集・アソシエイトプロデューサー: 秦岳志 | 製作・配給: 合同会社ななし
出演: 黄柳野高等学校 在校生 スタッフ 保護者 卒業生の皆様 | 空撮: 高知颯人 | 整音: 川上拓也 | カラリスト: 星子駿光 | 共同プロデューサー: 賀村航大
助成: 文部科学省 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



新たな、学校ドキュメンタリーの秀作が誕生 泣いたって傷ついたって大丈夫 この学校なら受け入れてくれる

愛知県奥三河の黄柳野高校——豊かな自然に囲まれ、四季の移り変わりを感じながら生徒たちは全寮制のこの学校で学ぶ。ここでは、不登校などいろいろなバックグラウンドの子どもたちも受け入れてくれる。様々な葛藤を抱えながらも精一杯、生きる生徒たちの姿。

最後の学園祭をクラスみんなで成功させたいと願うみのきくんは、血の繋がらない父の家業を継ぐか世界を旅する夢を追うかで悩み、音楽が大好きなことみさんは、ときどき落ち込むけど、ちょっとずつ自分の思いを歌にしている。そして3年間の学校生活の終わりは、近づいてくるのだった——。

不登校を経験した監督が学んだ学校を、 四季の移り変わりを通じて自らカメラに収めていく

監督は、大阪芸術大学でドキュメンタリー作家、原一男に学んだ田中健太。苦しみながらも懸命に生きている子どもたちが集う、大阪・富田林市の駄菓子屋を描いた卒業制作『ぼくと駄菓子のいえ』が、座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル、なら国際映画祭などで上映され、高く評価された。その待望の新作は、自らも不登校を経験し、黄柳野高校で学んだ記憶を胸に、時には悩み、傷つきながら成長していく子どもたちを、四季を感じながらそばに寄り添い、生き生きと捉えていく。

どんな道を歩もうとも 味方でいてくれる人がいたこと。

気にかけてくれる人がいたこと。自分を認められる自分がいたこと。そういう経験をした人は、ずっと先までその経験に支えられて歩んでいけるのだと信じられる。人生の中にあつた一瞬を忘れないでいられる。カメラに残された真剣な眼差しがそう思わせてくれた。撮る側も撮られる側も、とても勇気のいる撮影だったと思う。この映画が学校の外へ、社会へ届けられたことに深く心動かされました。

小森はるか (映像作家 / 『息の跡』『空に聞く』)

出演:黄柳野高等学校 在校生 スタッフ 保護者 卒業生の皆様
空撮:高畑颯人 | 整音:川上拓也 | カラリスト:星子駿光 | 共同プロデューサー:賀村航大 | 編集:アソシエイトプロデューサー:秦岳志
監督・撮影・編集:田中健太 | 製作・配給:合同会社ななし | 2023 | 日本 | 77分 | カラー | ドキュメンタリー

風たちの学校

<http://kazetachi-gakko.com>

<https://x.com/bokutodogashi>

<https://www.facebook.com/bokutodogashinoie/>



4.19 “胸いっぱい”のロードショー

⊕ 田中健太監督 前作『ぼくと駄菓子のいえ』特別上映! 4/19(土)~25(金) 12:50~

4/19(土) 10:30~ ※上映後舞台挨拶有り 秦岳志さん(本作編集)、田中健太(本作監督)

4/20(日) 10:30~ ※上映後トークイベント有り ゲスト:長村知愛さん(認定NPO法人ASOVIVA代表理事)

21(月)、22(火) 11:00~ | 23(水)、24(木) 15:10~ | 25(金) 10:30~ | 26(土)~5/2(金) 16:45~



シネ・ヌーヴォ
地下鉄中央線「九条駅」6号出口徒歩3分
阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分
TEL.06-6582-1416
<http://cinouveau.com/>